

[DAS 招待講演]

A I チップ設計拠点 ＝新しいパラダイムの構築に向けて＝

内山 邦男
産業技術総合研究所

概要：

2020 年代に Moore's Law が終わると予測され、それに同期してアーキテクチャや LSI 設計における新しいパラダイムが模索されている。技術の抜本的見直しを試みる IEEE の Rebooting Computing イニシアティブ、自ら AI チップを開発し自社のサービス基盤を強化する GAFA の動き、LSI 設計のオープン化を支援する DARPA の IDEA/POSH プロジェクト、オープンアーキテクチャの RISC-V など、様々な活動が始まっている。我が国でも 2018 年に AI チップ・次世代コンピューティングに関連した施策が打ち出された。今回の講演では、これらの動向を振り返りながら、中小・ベンチャー企業の AI チップ開発を支援するために NEDO 事業として開始された AI チップ設計拠点の活動について紹介する。